

令和7年4月15日

2024年度 北海道レフェリーアカデミー第10回(通算第20回) 事業報告

報告者：丑屋幸大(苫小牧)

【日時】2025年3月29日(土) 3月30日(日)

【場所】ヤクルト緑ヶ丘陸上競技場 TOMASEI フットボールフィールド
苫小牧東高校グラウンド

【参加者】審判員：高須賀哲平 丑屋幸大 岩本駿士

インストラクター：古曽部統太郎氏(RAM) 今川一輔氏(RAI) 伊藤真也氏(RAI)
平石暁史氏(RAI) 岡田渉氏(RAI)

オブザーバー：山崎裕彦氏 強化指定審判員10名 ユース審判員1名

【研修テーマ】今日がスタート

3月29日(土)

9:00 集合 ヤクルト緑ヶ丘陸上競技場

フィジカルトレーニング 担当 INS：岡田渉氏

クーパー走,持久走を実施。クーパー走を初めて経験し、審判員平均2800mであった。天候などの様々な要因が考えられるが、シーズン開幕前の現状を把握することができ、フィジカル面での課題が浮き彫りとなった。もっと走れなければならないと痛感した。



14:10 試合実践①② 高校サッカーフェスティバル苫小牧大会

苫小牧中央 vs 札幌啓成 主審：高須賀

苫南・白老東 vs 旭川工業 主審：丑屋

※空き時間には他の強化指定審判員の試合を観戦した。

16:10 諸連絡・解散

3月30日(日)

8:45 集合 苫小牧東高校グラウンド

9:00 フィジカルトレーニング 担当 INS：岡田渉氏

持久走,スプリントを実施。前日に引き続き持久走を行った。時間を設定することでペースを維持しなければいけないため、心肺機能と筋肉両方に負荷をかけることができた。また、持久走後にスプリントを行うことで、試合終盤を再現することとなりパフォーマンスを維持することの必要性を感じることができた。

2年間、岡田氏のフィジカルトレーニングで学んだことを今後も継続して主体的に取り組んでいきたい。テーマにもあるように今日がスタートとし、自分の現状と向き合ってトレーニングに励みたい。



・岩本駿士

2年間で審判技術のみならず、さまざまなことを学ばさせていただきました。この2年間で学んだことを今後どう生かすかが重要であると考えています。自分の目標を達成できるように今後も努力していきます。最後になりますが、2年間充実した活動を提供していただいたインストラクターの皆様やご協力していただいたすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。そして今後ともよろしくお願いいたします。

・及川凌夢

アカデミーインストラクターの皆さん、審判員の皆さん2年間ありがとうございました。

アカデミーで活動して人としても審判員としても大きく変わることができました。

この2年間で学んだことをこれからの人生に活かしていきます。本当にありがとうございました。